

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月7日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 京三製作所
 コード番号 6742 URL <http://www.kvosan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西川 勉
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 宮崎 和明
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月7日

TEL 045-450-1034

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	11,272	—	△675	—	△641	—	△367	—
20年3月期第1四半期	8,529	4.3	△1,017	—	△977	—	△615	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△5.86	—
20年3月期第1四半期	△9.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第1四半期	72,487	44.0	31,896	44.0	—	—	508.69	—
20年3月期	78,972	40.8	32,220	40.8	—	—	513.84	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 31,896百万円 20年3月期 32,220百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	25,000	6.2	△800	—	△950	—	△800	—	△12.76
通期	68,000	3.9	4,000	25.1	3,800	39.2	2,100	80.7	33.49

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、2ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、2ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 62,844,251株 20年3月期 62,844,251株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 140,390株 20年3月期 139,484株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 62,704,143株 20年3月期第1四半期 62,710,538株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の売上高は、前年同四半期に比べて2,743百万円増の11,272百万円となりました。

事業のセグメント別売上高では、信号システム事業が8,487百万円、電気機器事業が2,784百万円となりました。

信号システム事業は、鉄道信号システムにおきましてATC、ATS装置など信号保安製品を中心に受注高・売上高ともに引き続き堅調に推移いたしました。

一方、電気機器事業は、産業機器用電源装置におきまして前期における受注時期の影響により、売上時期が第2四半期以降となるため売上高は減少しましたが、受注高は前年同四半期に比べて増加しております。

この結果、当第1四半期の経常損失は前年同四半期に比べて336百万円減の641百万円、四半期純損失は前年同四半期に比べて248百万円減の367百万円となりました。

なお、当社グループの主力事業であります信号システム事業の製品出荷は、第2四半期末や年度末に集中するため、第1四半期の売上高および利益は例年低い水準で推移する傾向にあります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて6,484百万円減少し、72,487百万円となりました。主な増減は以下のとおりであります。

資産の部は現金及び預金が876百万円、たな卸資産が3,900百万円増加、投資有価証券が時価評価等により499百万円増加し、受取手形及び売掛金が12,201百万円減少しました。

負債の部は支払手形及び買掛金が609百万円、未払法人税等が524百万円、長期借入金が4,115百万円減少しました。

純資産の部はその他有価証券評価差額金が337百万円増加し、利益剰余金が681百万円減少しました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ、846百万円増加し6,526百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは5,109百万円のプラスとなりました。これは、たな卸資産が3,894百万円増加しましたが、売上債権が12,212百万円減少したことが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは399百万円のマイナスとなりました。これは有形固定資産の取得により319百万円支出したことが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは3,867百万円のマイナスとなりました。これは短期借入金が3,430百万円減少したことが主な要因であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間および通期の業績予想に関しましては、平成20年5月14日の決算発表時点と変更はありません。

なお、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却または除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,433	6,556
受取手形及び売掛金	16,378	28,579
製品	3,585	3,442
半製品	1,392	1,307
原材料及び貯蔵品	252	214
仕掛品	17,025	13,391
繰延税金資産	1,304	1,026
その他	336	185
貸倒引当金	△ 14	△ 22
流動資産合計	47,694	54,682
固定資産		
有形固定資産	7,842	7,636
無形固定資産	842	806
投資その他の資産		
投資有価証券	12,704	12,204
繰延税金資産	2,067	2,298
その他	1,392	1,429
貸倒引当金	△ 56	△ 85
投資その他の資産合計	16,107	15,846
固定資産合計	24,792	24,289
資産合計	72,487	78,972

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,306	17,916
短期借入金	8,444	7,883
未払法人税等	60	584
役員賞与引当金	36	95
受注損失引当金	191	102
その他	4,549	5,771
流動負債合計	30,589	32,353
固定負債		
長期借入金	2,790	6,905
退職給付引当金	6,862	7,082
役員退職慰労引当金	56	54
その他	292	355
固定負債合計	10,001	14,398
負債合計	40,590	46,751
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,270	6,270
資本剰余金	4,625	4,625
利益剰余金	18,629	19,310
自己株式	△ 47	△ 47
株主資本合計	29,477	30,159
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,490	2,153
為替換算調整勘定	△ 71	△ 91
評価・換算差額等合計	2,419	2,061
純資産合計	31,896	32,220
負債純資産合計	72,487	78,972

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	11,272
売上原価	9,887
売上総利益	1,385
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	601
賞与	177
役員賞与引当金繰入額	20
退職給付費用	66
減価償却費	45
荷造及び発送費	196
その他	952
販売費及び一般管理費合計	2,060
営業損失(△)	△ 675
営業外収益	
受取配当金	75
受取保険金	43
その他	44
営業外収益合計	163
営業外費用	
支払利息	57
持分法による投資損失	56
その他	16
営業外費用合計	129
経常損失(△)	△ 641
特別利益	
貸倒引当金戻入額	16
特別利益合計	16
特別損失	
固定資産除売却損	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 625
法人税等	△ 257
四半期純損失(△)	△ 367

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 625
減価償却費	335
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 36
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△ 220
持分法による投資損益(△は益)	56
受取利息及び受取配当金	△ 77
支払利息	57
売上債権の増減額(△は増加)	12,212
たな卸資産の増減額(△は増加)	△ 3,894
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 612
その他	△ 1,555
小計	5,637
利息及び配当金の受取額	89
利息の支払額	△ 71
法人税等の支払額	△ 546
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,109
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△ 49
定期預金の払戻による収入	27
投資有価証券の取得による支出	△ 1
有形固定資産の取得による支出	△ 319
無形固定資産の取得による支出	△ 86
その他	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 399
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△ 3,430
長期借入金の返済による支出	△ 123
配当金の支払額	△ 313
その他	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,867
現金及び現金同等物に係る換算差額	4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	846
現金及び現金同等物の期首残高	5,679
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,526

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	信号システム 事業 (百万円)	電気機器 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	8,487	2,784	11,272	—	11,272
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	184	185	(185)	—
計	8,488	2,969	11,457	(185)	11,272
営業利益又は 営業損失(△)	△66	57	△8	(666)	△675

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な製品

(1) 信号システム事業・・・列車運行管理システム、列車保安制御システム、交通管制システム

(2) 電気機器事業・・・半導体応用機器

3. 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用は、親会社の管理部門等に係る費用であります。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間については、全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、いずれも90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	1,244	34	1,279
II 連結売上高(百万円)	—	—	11,272
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.0	0.3	11.3

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・中国、台湾、韓国等

(2) その他・・・ベネズエラ等

2. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

「参考資料」

前第1四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位 百万円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
売上高	8,529
売上原価	7,552
売上総利益	977
販売費及び一般管理費	1,994
営業損失(△)	△1,017
営業外収益	137
営業外費用	98
経常損失(△)	△977
特別損失	14
税金等調整前四半期純損失(△)	△991
法人税等	△347
少数株主損失	28
四半期純損失(△)	△615

(2) (要約) 四半期連結キャッシュフロー計算書

(単位 百万円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△991
減価償却費	243
売上債権の増減額(増加:△)	12,111
たな卸資産の増減額(増加:△)	△4,698
仕入債務の増減額(減少:△)	△1,037
法人税等の支払額	△1,253
その他	△919
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,454
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	29
有形固定資産の取得による支出	△267
有形固定資産の売却による収入	860
その他	△58
投資活動によるキャッシュ・フロー	564
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(減少:△)	△1,366
長期借入による収入	—
長期借入金の返済による支出	△82
配当金の支払額	△408
その他	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,857
現金及び現金同等物に係る換算差額	4
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	2,165
現金及び現金同等物期首残高	4,203
現金及び現金同等物四半期末(期末)残高	6,369

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

	信号システム 事業 (百万円)	電気機器 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	5,110	3,418	8,529	—	8,529
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	188	188	(188)	—
計	5,110	3,607	8,718	(188)	8,529
営業利益又は 営業損失(△)	△ 667	257	△ 410	(606)	△ 1,017

- (注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。
 2. 各事業の主な製品
 (1) 信号システム事業・・・列車運行管理システム、列車保安制御システム、交通管制システム
 (2) 電気機器事業・・・半導体応用機器
 3. 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用は、親会社の管理部門等に係る費用であります。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間については、全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、いずれも90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	753	3	756
II 連結売上高(百万円)	—	—	8,529
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	8.8	0.0	8.8

- (注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。
 (1) アジア・・・中国、インド、韓国等
 (2) その他・・・ベネズエラ等
 2. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。